

2022年4月1日

2022年度スカイマーク入社式について

スカイマークは、本日4月1日、本社にて入社式を行い、13名の新入社員(事務系スタッフ2名、技術系スタッフ1名、ITスタッフ:2名、整備職:8名)を迎えました。

過去2年の入社式は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインで行いましたが、今年は感染症対策を徹底したうえで対面にて入社式を実施しました。また、入社式後に羽田空港へ移動して、新入社員全員で出発便のお見送りを行いました。

■当社代表者の挨拶 要旨

- ・ 取締役会長 山本 礼二郎(やまもと れいじろう)

これから長い社会人生活の第一歩をスカイマークの一員として踏み出したこととなり、本当にうれしく思います。

当社は安全を担保したうえで、2017年度から「4年連続定時運航率第1位」を達成しています。

また、当社は様々なサービスを工夫しながら適正な価格で適切なサービスをお客様に提供しており、高い評価をいただいています。

本日から皆さんも仲間として参画し、全員でお客様にご満足いただけるように努めていきましょう。

世の中ではコロナ以外にも、インフレやウクライナ危機などが起きています。こうした変化に対応しながら、社会インフラである航空会社は何かがあっても運航を守らなければいけません。

また、社会で重要なのは多様性を活かすことです。様々な人の意見に耳を傾けましょう。

「明日、死ぬかのように生きろ。永遠に生きるかのように学べ」というガンジーの金言があります。

つまり、ずっと学び続けることが大事なのです。新しい技術やテクノロジー、また接客ノウハウなど勉強することは様々あると思われませんが、皆さんにはいろいろな形でこれからも学び続けていただきたいと思います。

・代表取締役社長執行役員 洞 駿(ほら はやお)

一昨年の3月から新型コロナウイルスの感染が拡大し航空業界は大変な危機に直面、市場からお客様が9割以上消失した時期もありました。当社は急激な需要の減退に対応して機動的な減便や大胆なコスト削減の実施によって赤字の拡大をできる限り抑制する一方、資金の確保や資本増強など財務基盤の強化を図ってきました。ワクチン接種の進展や治療薬の開発、コロナをめぐる国内の環境改善などが進む中、この夏には本格的な国内航空需要が期待できるところまで回復してきました。決して楽観視をしてはいけませんが、コロナ収束後の当社を成長軌道に戻すとともにスカイマークの存在感をさらに高め、盤石なものとして行きます。一抹の不安があるかもしれませんが安心してください。

当社は1996年、日本の航空市場に競争を通じて業界に革新と多様性をもたらすために設立されました。期待された通り競争を通じて着実に発展し、我が国の経済を支える重要な公共交通機関に成長しました。「安全運航を前提に、定時運航率日本一に代表されるような高い運航品質と、シンプルで心のこもったサービスを身近な運賃で提供する」という当社のビジネスモデルは多くのお客様の厚い支持を受けており、これは我々の自信と誇りです。また、ネットワークを国内外に広めてより多くのお客様に当社のサービスを届けることが社会的責務であり、ひいてはSDGsの「あらゆる階層に基本的な移動のサービスを提供する」という原則を実現していきたいと考えています。

当社は、総勢約2,600名の社員が運航に関連する部門を自前で運営するユニークな会社です。様々な職種の仲間がバトンをつなぎながらワンチームで飛行機を飛ばしているという感動を肌で感じられるような、風通しが良くチームワークが強固な企業風土造りと働き方改革を進めています。既存の枠にとらわれない新鮮な発想と行動力で、当社のさらなる躍進にむけて思い切り力を発揮し羽ばたいていただきたいと思います。

■新入社員代表者の挨拶 要旨

- ・ 事務系スタッフ 吉村 紗英(よしむら さえ)

ここにいる同期の仲間と共に、晴れてスカイマークの一員としてスタートできることを、大変嬉しく、ありがたく思っています。

これからも安全を最優先に、当社の強みである定時運航率 No.1 の継続的な獲得、そしてより一層お客さまに愛されるエアラインを目指して、業務に取り組んでいきたいと思ひます。

若さとチャレンジ精神を武器に、コロナ禍で不安定な航空業界の中でもスカイマークをより盛り上げていけるよう、全力で努めていきます。



お見送りの様子(福岡行 13 便)

以上